

目標：販売額の増加 整備内容：用排水路(390m)、農道(1,650m)、集出荷貯蔵施設、鳥獣被害防止柵(22km)

【工夫のポイント】

- 荷痛み防止による生産コストの削減。
- 販路の新規開拓や農産物のブランド化を目指した集出荷貯蔵施設の整備。
- 被害軽減と見回り等の労力を軽減に向けた鳥獣被害防止柵の設置。

【取組地域の概要】

- 位置 (うちこちょう)
愛媛県内子町(過疎、振興山村、特定農山村)



- 主要作物
・柿、ぶどう、梨、その他

- 主な支援施策
・畑地帯総合整備事業(国:H3~H21)
・中山間地域直接支払交付金(国:H12~)
・多面的機能支払交付金(国:H19~)

基盤整備

農道の改良等生産基盤の整備

- 農道整備により、農産物の荷痛みを防止
- 鳥獣被害防止柵の設置により、被害と労力の軽減を図る



生産現場

ブランド力の強化

- 統一的な内子ブランドの構築のため、関係機関が連携し、有望品種への改植を推進



集出荷貯蔵施設の整備

- 高性能選果機の導入により、選果効率の向上による労力軽減と品質向上による販売単価の向上を図る
- 完熟した富有柿を冷蔵庫で保存し、販売期間を延伸することで、有利販売を図る
- 長期保存できる「冷蔵柿」により海外を含めた販路拡大と単価向上を図る



加工・流通

担い手

担い手支援や新規就農の確保育成

- 担い手の確保に向けて、法人化への誘導、農外からの意欲ある新規参入者の確保・育成及び定住を促進
- 研修・勉強会により、販路開拓や健全経営を支援

集出荷貯蔵施設と基盤整備を組み合わせることで販売額を増加

- 農道等の基盤整備により、荷痛みを防止し、生産コストが低減するとともに品質が安定
- 集出荷貯蔵施設の整備により、品質の向上や販売期間の延伸が図られ、販路の新規開拓(海外輸出)や生産物のブランド化が促進

- 鳥獣被害防止柵の設置により、被害が軽減されるとともに労力も軽減

